

事業番号	事業名	質問・評価等	回答・対応	担当課	回答方法
		全般についてですが、億単位の予算・執行額が記されている事業が多数あるのですが、総額2000億円くらいの長岡市の予算でこれが本当に可能なのか、疑問があります。この金額には施設の建設費など的高額な費用が含まれてはいませんか？	可能な限り直接的に関わる予算額を記載しています。事業によってはその実施に必要な経費として人件費や施設維持などが含まれている場合があるため、記載が高額となっているものがあります。	事務局 (人権・男女共同参画課)	文書回答
01	男女共同参画の視点に基づいた広報・情報発信	コメントなし		広報・魅力発信課、人権・男女共同参画課	
02	メディア・リテラシーの学習機会提供	チェックの結果わかったことなど、ありましたらお教えください。	令和4年度に指摘事項なしとなりましたが、令和5年度は1件の指摘がありました。男の子は青・女の子は赤などの色の使用や、医師が男性で看護師が女性などの性別による特定のイメージを持たせる可能性のある表現がありました。指摘件数は少なくなり、理解は進んでいると捉えてはいますが、チェック機能として引き続き継続していきます。	人権・男女共同参画課	文書回答
03	男女平等センター「ウィルながおか」での意識啓発事業	別紙に記載の研修企画講座の①②⑤⑥が男女共同参画の視点でどのような工夫がなされていたのかをお教えください。	ウィルながおかの学習・研修事業は、女性の自立や社会参加を促進することを目的に、エンパワーメントのための講座として開催しています。参加は男女ともに可能ではありますが、特に女性の悩みの解決に役立つテーマとして、心と身体の健康やキャリアアップに役立つ講座などを企画しました。	人権・男女共同参画課	文書回答
04	家庭教育活動事業	四つの講座と講演会の参加者は全体で351名ということでしょうか？それぞれの内訳をお教えください。また、従来形式での講座・講演会とWEB配信講座を比較して、それぞれにどのようなメリットがあったのか、お教えください。	四つの講座と二つ講演会の全体の参加者が351名です。内訳は講座が①24名②22名③18名④19名の計83名、講演会が①253名②15名の計268名です。従来形式のメリットは同じような悩みを抱えた人が集まることによって悩みを共有することができ、子育てに前向きになるきっかけとなることです。一方WEB講座のメリットは、家族全員で受講することができ、家庭内で話し合いの場を作るきっかけとなることです。	子ども・子育て課	文書回答
05	地域人材教育活動	前年度よりも修了者の数が減っているのはどうしてでしょうか？ また今年度の目標は？	講座の受講者（修了者）は、各地区のコミュニティセンターから、各々の人材ニーズに因って推薦を受けております。受講者の主な減少要因には、人材ニーズはあるが推薦できるような人材が地域で見つからないということが考えられます。本講座は2箇年講座のため、今年度の修了者も令和5年度と同数である見込みですが、次期講座では全コミセン数の約2/3である30名を目標に、各地区のコミュニティセンターと連携し、地域の人材発掘に努めるとともに、受講しやすくなるような魅力的な講座作りに努めてまいります。	中央公民館	文書回答
06	小・中学校の児童生徒への男女共同参画学習	毎年の実施計画では「1回以上」とありますが、実施できたのは何回なのでしょう？	道徳や保健体育の授業を中心に、異性についての理解を深め、男女平等や男女共同参画に関する学習を、全学年で少なくとも年1回以上実施しています。例えば、小学校では道徳の授業でジェンダーに関する理解を促進する教材を用い、中学3年生では公民の授業で『男女共同参画社会基本法』について学びます。また、保健体育とは別に、養護教諭による性に関する指導の際に人権教育も行われており、これらは学校全体の教育方針に基づいた一貫した取組です。そのため、具体的な回数を明示することは難しいですが、学年間で繰り返し学習が行われています。	学校教育課	文書回答
07	小中学校の教職員を対象とした男女共同参画に関する研修	実施計画には、全市立学校教職員対象の人権研修会を1回、校内研修会を年2回以上とありますが、実施状況には校内研修会についての記述がありません。なぜですか？ また、この「校内」は、各市立学校でそれぞれ「校内」研修会を2回以上の意味だと思のですが、いかがでしょうか？	各校で「校内」研修会を年数回行っており、その中で男女共同参画に関する研修を2回以上行っています。内容については各校に任せており、実施状況に記述がなかったのは、共通した具体的な研修内容を示せなかったためです。各校が行っている主な内容は、ハラスメントの防止、性差別や偏見の防止、個人の尊重、ワークバランスの促進、伝達講習会など、職員の意識啓発を行っています。	学校教育課	会議
08	幼児への男女共同参画教育	前年度は対象園102園のうち96名との記載がありましたが、令和5年度については単に77名としかありません。これは多いのでしょうか？ 少ないのでしょうか？ 不適切保育に対する各園の対応についても詳しいお話を知りたいと思います。	対象園104園のうち77名が参加しました。各園1名の参加を見込んでいますが、開催日が園の行事と重なったことなどによりR4と比較すると減少しました。各園では「子どもの人権」に着目し、適切な保育に関する園内研修を実施しています。 【対象園数を管理表に追記します。】	保育課	会議
09	幼稚園・保育園・こども園の保護者を対象とした男女共同参画の意識啓発	開催した園の数も回数も減少していますが、参加者は増えています。これをどう考えますか？ また男性の参加をさらに促すにはどうしたらいいとお考えでしょうか？	コロナの制限緩和により、親子で触れ合える講座を増やしたことで参加者の増加につながったものと考えます。引き続き、男女問わず参加しやすい講座内容の工夫や参加しやすい開催時期の設定などで男性の参加を促していきます。	保育課	文書回答
10	政策方針決定過程への女性参画割合向上	今年度の達成率自体は昨年と変わっていませんが、その内訳は？ 昨年前進した審議会等で後退したところはありませんか？	令和4年度の実績に誤りがあり、正しくは35.4%でした。（進捗管理表を修正します。）審議会等によって年度ごとに変動はあり、後退もいくつかありますが、充て職化されている委員の人事異動によるものが多くありました。全体としては向上しており、今年度（R6）は39.6%となりました。	人権・男女共同参画課	文書回答
11	女性管理職員の登用率の向上	登用率が2%も上昇してよかったです。外部研修への派遣人数も増えてますね！！ キャリア形成の研修への参加者が昨年より少ないようですが、これはどう考えたらいいでしょうか？	キャリア形成研修について、昨年度より対象者が少なかったことにより、参加者が30名から27名に減少しました。	人事課	文書回答
12	コミュニティでの女性の参画促進	実施計画には、女性の積極的な登用を促すように文書に記載する、と書かれていますが、具体的にどんな文書にどう記載したのでしょうか。成果としては前年度と同様の状況が続いているようにも見えますが、意識啓発をどのように図ったのか、お教えください。	11月頃、各地区コミュニティ推進組織の長及びコミュニティセンター長に対し、会計年度任用職員の推薦を依頼する文書に、「職員の選出にあたり、男女共同参画を推進するために積極的な女性の登用をお願いしたい」と明記しています。意識啓発としては、人権・男女共同参画課と共同で、「アンコンシャスバイアス研修」を職員向けに開催し、無意識の偏見や男女の役割に関する偏見を解消し、地域活動の活性化に努めております。	市民協働課	文書回答
13	防災分野での女性の参画促進	女性の委員数を着実に増やしているのは立派です！！ 問題の長岡市防災会議条例第3条第5項第7号の改正を議会に働きかけることはできないのでしょうか？	条例の改正については、上部団体の状況や他の条項の精査を含め、検討して参ります。なお、令和4年度より長岡市防災会議条例第3条第5項第7号の規定を柔軟に運用し、「当該者が属する機関としての意見等を適切に発信することのできる相当の職にある者」であれば肩書等にかかわらず、積極的に委員として登用しておりますので、引き続き関係機関へ女性委員を推薦するように要請します。	危機管理防災本部	文書回答
14	農業分野での女性の参画促進	こちらでも協議会委員への女性登用が促進され、成果があがりましたね！		農水産政策課	
15	女性管理職登用の推進	令和4年度と比べて参加者が減っているように見えます。実施の状況についてももう少し詳しく説明をお願いします。	・女性活躍推進シンポジウムの参加者はR4：142人、R5：80人でした。R5は、同年7月に人材育成と産業振興の拠点である「ミライエ長岡」がオープンしたことから、この施設のコンセプトに合わせて、ミライエ長岡で開催しました。会場のキャパシティが100人程度であり、関係者を含めてほぼ満席でした。女性活躍について造詣のある日経新聞編集委員の基調講演や、働き方改革に取組む市内企業のトークセッションなどを行い、アンケートからも満足度が高く、市内産業界などに対する意識啓発の機会になったと考えております。 ・なお、女性のエンパワーメントセミナーはR4:43人、R5:42人で、アンコンシャスバイアスセミナーはR4:16人、R5:18人で、ほぼ同数です。	産業立地・人材課、人権・男女共同参画課	文書回答
16	雇用の場におけるダイバーシティの推進	令和4年度も5年度も実施計画は同じでしたが、令和5年度では企業に向いて行う研修会の実施件数が4年度よりも、また計画よりも1社多くなっています。努力がうかがえます！！ これに応じて6年度では実施計画を増強するという事は考えられませんか？	令和5年度は、社内研修会のニーズが高い一方、コンサルティングの実施見込数が少なかったことから、予算の範囲内で研修会への対応を増やしたところです。令和6年度も引き続き、ニーズに応じて検討してまいります。	産業立地・人材課	文書回答
		「女性が働きやすい職場がもたらす相乗効果とは」に参加した企業や「ハラスメント防止講座」で企業に向かれた後の、企業側の取組みの報告等がありましたらお聞かせください。	ハラスメントの企業内研修会後、ハラスメントの意識啓発を継続的に行うものと捉え、最初に管理職研修を行った後、全社員向けに対象を広げて実施している企業が多いです。また、勉強会での他業種同士の意見交換で聞いた好事例を会社に持ち帰り、自社に取り入れることを検討される企業もいらっしゃいます。		文書回答

17	女性農業者向け研修会の開催支援	実施計画での想定4回に対して、実際には何回の支援が行われたのでしょうか？ 令和4年度よりも若干ではありますが参加人数が増えているようです。この点をどう総括しますか？	視察研修会は、新潟市1回、阿賀町1回の計2回行われ支援いたしました。女性農業者向けのセミナー研修会の参加人数増加の要因としては、女性農業者グループの意見を取り入れながら、より実践的な研修及び、メディア（新潟日報）を使つての事前周知が功を奏したと考えられます。	農水産政策課	文書回答																																																								
18	家族経営協定の締結促進	令和4年度の実績よりも後退したように見えますが、詳しく説明してください。	令和4年度は新たに3件、女性を含めた家族経営協定数が増え、令和5年度は更に2件増加しました。進捗管理表の表現もそのように修正いたしました。	農水産政策課	会議																																																								
19	女性消防団員の育成	学生団員の増員が見られてことは大きな成果でした。詳細な人数や指導の回数も記入されていて、わかりやすいです！！		消防本部総務課																																																									
20	女性の視点を取り入れた防災活動の実施	着実に計画が実施できています！！		危機管理防災本部、子ども・子育て課、人権・男女共同参画課																																																									
21	男女ニーズの違いに配慮した避難所環境の整備	追加配備に格段の前進が見られます。6年度の計画もこれを受けて積極的なものになっているところが評価できます！！		危機管理防災本部、子ども・子育て課、人権・男女共同参画課	会議																																																								
		避難所の環境整備で、トイレに関してはどのように工夫されていますか。（汚れ、被害に合わない工夫など）	「男女共同参画の視点を踏まえた災害対応担当者研修」において、性別により災害から受ける影響に違いがあること、性別役割にとらわれない避難所運営が必要であることなどを中心に学習し、トイレ・衛生対策は、特に女性の避難生活において配慮が必要であることを担当職員が共有しました。また、ウィルナがおか発行のあぜりあにおいて、災害時のトイレ対策を特集し、在宅避難時を含めて市民への周知に活用しました。																																																										
22	長岡ヘルシープラン21の推進	ながおかヘルシープラン21の改定に伴う具体的な方針とその実施が完結にまとめられています！！研修会の参加者も増加していて、前進が見られます！！		健康増進課	文書回答																																																								
		コロナ禍後、女性の自殺者数は増えていますか。	・コロナ禍にあった令和3年に女性の自殺者が初めて男性を上回りました。感染症拡大前の5年平均自殺者数と比較し、20代以上で増加が見られました。令和3年以外は例年どおりの人数で推移しています。 ・厚生労働大臣指定法人の「いのちを支える自殺対策推進センター」による「コロナ禍における自殺の動向に関する分析」によると、女性の自殺の背景には、経済生活問題や勤務問題、DV被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患など、様々な問題が潜んでおり、コロナ禍において、そうした自殺の要因になりかねない問題が深刻化し、これらが女性の自殺者の増加に影響を与えている可能性がある指摘しています。長岡市においても、同様の影響を受けた方もおられたものと推察されます。																																																										
23	子宮頸がん・乳がん検診	乳がん・子宮がん両健診とも受診者数は増加しているようですが、割合が横ばいです。当該年齢の女性の人口を示していただけると、この数値ももっとわかりやすいだろうと思います！！	対象者数、受診者数、受診率は下記のとおりです。対象者数、受診者数は単年度の人数です。受診率については、子宮頸がん・乳がん検診は原則2年に1回受診する検診ですので、連続する2年間の受診者数で算出した「2年受診率」を使用しており、受診者数が増加しても、受診率が減少する場合があります。 2年受診率 = (当該年度受診者数 + 前年度受診者数 - 2年連続受診者数) / 当該年度対象者数 × 100  子宮頸がん検診 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数(人)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>2年受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>113,279</td> <td>5,075</td> <td>9.9 (R3・R4)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>112,367</td> <td>5,745</td> <td>9.6 (R4・R5)</td> </tr> </tbody> </table> 乳がん検診 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数(人)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>2年受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>89,665</td> <td>5,845</td> <td>14.4 (R3・R4)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>89,248</td> <td>6,623</td> <td>13.9 (R4・R5)</td> </tr> </tbody> </table>		対象者数(人)	受診者数(人)	2年受診率(%)	R4	113,279	5,075	9.9 (R3・R4)	R5	112,367	5,745	9.6 (R4・R5)		対象者数(人)	受診者数(人)	2年受診率(%)	R4	89,665	5,845	14.4 (R3・R4)	R5	89,248	6,623	13.9 (R4・R5)	健康増進課	文書回答																																
	対象者数(人)	受診者数(人)	2年受診率(%)																																																										
R4	113,279	5,075	9.9 (R3・R4)																																																										
R5	112,367	5,745	9.6 (R4・R5)																																																										
	対象者数(人)	受診者数(人)	2年受診率(%)																																																										
R4	89,665	5,845	14.4 (R3・R4)																																																										
R5	89,248	6,623	13.9 (R4・R5)																																																										
24	妊娠・出産期における健康支援	出産数自体が減少しているのがうかがえます。出生率との関係など、長岡市の現状をお教えください。資料の添付でも結構です	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出生数</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>946,065</td> <td>918,397</td> <td>865,239</td> <td>840,832</td> <td>811,604</td> <td>770,747</td> </tr> <tr> <td>新潟県</td> <td>14,967</td> <td>14,509</td> <td>13,640</td> <td>12,981</td> <td>12,981</td> <td>11,732</td> </tr> <tr> <td>長岡市</td> <td>1,880</td> <td>1,856</td> <td>1,721</td> <td>1,618</td> <td>1,580</td> <td>1,555</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合計特殊出生率</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1.43</td> <td>1.42</td> <td>1.36</td> <td>1.33</td> <td>1.30</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>新潟県</td> <td>1.41</td> <td>1.41</td> <td>1.38</td> <td>1.33</td> <td>1.32</td> <td>1.27</td> </tr> <tr> <td>長岡市</td> <td>1.44</td> <td>1.47</td> <td>1.42</td> <td>1.36</td> <td>1.34</td> <td>1.37</td> </tr> </tbody> </table> ・合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした場合の平均の子ども数をいう。	出生数	H29	H30	R1	R2	R3	R4	全国	946,065	918,397	865,239	840,832	811,604	770,747	新潟県	14,967	14,509	13,640	12,981	12,981	11,732	長岡市	1,880	1,856	1,721	1,618	1,580	1,555	合計特殊出生率	H29	H30	R1	R2	R3	R4	全国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	新潟県	1.41	1.41	1.38	1.33	1.32	1.27	長岡市	1.44	1.47	1.42	1.36	1.34	1.37	子ども・子育て課	文書回答
出生数	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																							
全国	946,065	918,397	865,239	840,832	811,604	770,747																																																							
新潟県	14,967	14,509	13,640	12,981	12,981	11,732																																																							
長岡市	1,880	1,856	1,721	1,618	1,580	1,555																																																							
合計特殊出生率	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																							
全国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26																																																							
新潟県	1.41	1.41	1.38	1.33	1.32	1.27																																																							
長岡市	1.44	1.47	1.42	1.36	1.34	1.37																																																							
25	思春期・青少年相談	相談件数が増加しているのがわかります。SNSを利用した相談などは検討されていますか。	SNSを利用した相談については、新潟県教育委員会がLINE相談を行っており、これにより多くの子どもたちが気軽に相談できる環境を提供しています。長岡市としても、子どもたちがより相談しやすい環境を整えるために、ICT端末を活用した相談システムを検討中です。	学校教育課	文書回答																																																								
26	介護予防事業	認知症予防事業の実施が倍増しているのがわかります！！どのような工夫をなさったのかお教えください。	実施回数を増やすとともに、内容をコグニサイズ、脳の健康度測定、芸術療法、eスポーツなど様々な体験ができるプログラムとしました。	健康増進課	会議																																																								
27	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金	新規相談登録件数が年々減少しているのは、問題の状況と相談の方法とがずれ始めているから、といったことは考えられますか？ 個々の問題が多様化していることについてどう対応するのか、対策があるならお教えください。	自立支援教育訓練給付金については、支給割合の引き上げを行い、高等職業訓練促進給付金については、短期間で取得可能な民間資格を含む対象資格に拡大するなど、対象者が利用しやすいような制度改正を進めています。今後も個々のひとり親世帯のニーズを把握しながら、適切なサービスにつなげられるよう支援してまいります。	生活支援課	文書回答																																																								
28	母子・父子自立心プログラム策定事業	利用が減少している理由は何か考えられますか？	利用者が減少している理由として、インターネットを通じて就職活動等を行うケースが増加してきていることが一因と考えられます。今後は、プログラム策定対象者の所得要件を緩和し、利用しやすい環境づくりを進めます。※決算額のフォントを修正します。※決算額のフォントを修正します。	生活支援課	文書回答																																																								
29	生活困窮者自立相談支援事業	コメントなし		生活支援課	文書回答																																																								
30	生活困窮者学習支援事業	生活困窮者学習支援事業は、良い政策と思いますが、利用者が令和4年後は9人、令和5年度が3人と減った原因は何ですか。	令和4年度の新規利用者が短期間で利用終了となったため。理由として、利用日時の調整や送迎などの保護者負担が原因で長期の利用につながらなかったことが考えられます。	生活支援課	会議																																																								

31	多様な活躍に繋がる学びや体験の機会の提供	令和4年度との違いは？ 参加者が少ないようですが、いかがですか？ 実施計画からは実際に何をどうするのが見えてこないのですが、6年度はどうなっていますか？ 参加者の減少と予算の減少は関係がありますか？	・R4・R5ともに、可能性を広げる女性の学び合い講座として、それぞれ計6回の講座を開催しました。R4は原則として6回全てに参加できる方を募集し、市民活動、政治、起業、リーダーシップなどをテーマに6回を通して学び合いました。R5も計6回の講座でしたが、参加者がテーマ毎に気軽に参加しやすいよう、起業（フリーランス）2回、市民活動3回、政治1回に分けて募集し、それぞれの分野で活動する方の講話やグループワークを行いました。起業（フリーランス）については多くの参加がありました。市民活動と政治で集客的に苦戦しました。そこで、R6は「自分らしく活動する女性のネットワークづくり交流会」とし、前回でニーズが感じられた起業（フリーランス）などで自分らしく活動する女性ロールモデルの講話を聞き、参加者同士のフリートークで自分とは違う価値観に触れ新たな気付きを得て、ネットワークづくりに役立ててもらおう、という企画にしています。現在、計5回のうち2回が終了しており、いずれもほぼ満席の状況で好評をいただいています。なお、予算につきましては調整の結果であり、参加者減を反映したものではありません。	人権・男女共同参画課	文書回答
32	多様な活躍に向けた啓発・情報提供	参加者が減っていますが、原因はどのように考えますか？ 令和5年度は予算に対して執行額が半分以下です。6年度の予算は昨年の執行額よりも少なくなっています。どうということなのか説明をお願いします。	・女性活躍推進シンポジウムの参加者はR4：142人、R5：80人でした。R5は、同年7月に人材育成と産業振興の拠点である「ミライエ長岡」がオープンしたことから、この施設のコンセプトに合わせて、ミライエ長岡で開催しました。会場のキャパシティが100人程度であり、関係者を含めてほぼ満席でした。 ・シンポジウムをミライエ長岡で行ったことから会場借上料が不要となったことや、当日の会場設営や運営を外部委託せず自前で行ったことなどから、執行額が少額となったものです。 ・R6の予算額は、R5の執行額を基に算出していますが、「今後の課題・取り組みの方向等」欄に記載のとおり、女性のアイデアコンテストを終了したことから、これに要する経費を減じたことにより少なくなっています。	人権・男女共同参画課	文書回答
33	就職・再就職支援	昨年と比べても相当に躍進が見られますが、どのような様子だったのか、具体的なお話が聞きたいです！！	・2/23にミライエ長岡で職場復帰支援セミナーを開催しました。新年度を目前に控えた時期に、育休明けや再就職などの職場復帰をされる方を対象に、改めて仕事と家事育児の両立に向けた夫婦のパートナーシップの大切さを意識啓発する企画としました。イベントタイトルを「教えて！竹田こもちくんさん お互いを認め合える関係性ってなあに？」と親しみやすくし、5男児ママ芸人の竹田こもちくんさんをゲストに迎えたトークライブと、竹田さんと多子家庭の夫3人を交えたトークセッションで、仕事と家庭の両立における夫婦の試行錯誤や解決策などについてトークしました。子育て支援施設「ぐんぐん」を運営するNPO法人と共催することにより、より子育て中の夫婦にアプローチすることができ、210名（うちオンライン参加160人）の参加となりました。	人権・男女共同参画課	文書回答
		子育て世代向け再就職セミナーと職場復帰支援セミナー参加者の出産前の職種（事務職、医療職など）と復帰希望の職種が分かれば教えてください。	社会保険の扶養の範囲や夫婦の家事分担などを考える内容としていたため、参加者の職種までは確認していません。		
34	起業・創業支援	「延べ」とあるので、複数回の開催の合計参加者のことだと思いますが、セミナーは何回おこなったのですか？	合計3回実施しました。実施日と参加者数の内訳は下記のとおりです。 ・補助金活用セミナー 4/17実施 参加者9名 ・R5年度第1回起業スクール 12/1,12/8,12/15,12/23の4回講座で実施 参加者14名 ・R5年度第2回起業スクール 2/2,2/9,2/16,2/24の4回講座で実施 参加者20名	産業イノベーション課	文書回答
		起業セミナーに参加された後に実際に起業された数を教えてください。	受講から時間を経ずに起業を実現される方もいると思いますが、数年単位など比較的時間をかけて実現していく方もいると思われるため、正確な追跡はできておりません。 当市が把握している中では、R5年度実施したセミナーの参加者から5社が起業をしています。		
35	ワーク・ライフ・バランスの推進	参加企業も増えているのがよいと思います！！		産業立地・人材課、人権・男女共同参画課	
36	働きやすい職場環境新事業	企業訪問の回数が年々減っていますが、これはどういうことですか？	令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、企業様の要望もあり、訪問を控えておりました。また、はたブラが定着してくるに従い、課題のヒアリングやアドバイスにかかる訪問時間が増えていることが件数の減少に影響していると考えられます。	産業立地・人材課	文書回答
37	ハッピー・パートナー企業登録促進	コメントなし		人権・男女共同参画課	
38	男女の介護・育児と仕事の両立の支援	コメントなし		産業立地・人材課	
39	相談機能の充実	令和4年度との表記の仕方が異なるようで、どのくらい前進があったのか、今一つ理解できません。説明していただけると嬉しいです。	・子育て支援を対象とした就職・再就職支援については、事業No.33（上記質問への回答含む）のとおりです。R5は、子育て支援施設「ぐんぐん」と連携し、同施設が日々の施設運営で得た子育て中のママ・パパのニーズや情報などを企画に生かしました。	人権・男女共同参画課	文書回答
40	コミュニティ推進事業	コメントなし		市民協働課、人権・男女共同参画課	
41	まちなかキャンパス長岡運営事業	昨年の記述と比べて具体性が極端に低いです。何をどこまで、どのように実施したのかを示してください。	昨年度は当初オンライン形式またはサテライト形式の講座の試験開催を計画していたため、そのことに対する評価等を記入していましたが、受講者のニーズや技術面の課題も含めて協議会内で検討した結果、（実施計画に記載のとおり）今年度は計画に盛り込まなかったため、その点についての記載の有無が昨年度と異なる点となっています。 なお、開催時間や曜日については、平日19:00～もしくは土日祝の10:00～14:00～というように、様々な時間帯や曜日を設定し、幅広い年代から受講いただけるように工夫しています。 また、保育サービスの具体的な件数は記載のとおりとなります。	ミライエ長岡企画推進室	文書回答
42	育児と仕事の両立支援	昨年度と比べて参加状況が低調なようです。何が原因ですか？ 未受講者が減ってきているからでしょうか？	それぞれの研修の対象者が少なかったことにより、参加者が2～6名減少しました。③の子育て＋仕事両立研修については、継続して研修を実施しているため、未受講者の減少も考えられます。	人事課	文書回答
43	ファミリー・サポート・センター事業	着実です。		子ども・子育て課	
44	子育て家庭からの相談に対する……	着実です。		子ども・子育て課、子ども家庭センター	
45	子育ての駅運営	着実です。		子ども・子育て課	
46	男性の育児に対する支援の充実	着実です。		子ども・子育て課、子ども家庭センター	
47	児童クラブの充実	着実です。		子ども・子育て課	
48	母子保健推進員活動	着実です。		子ども・子育て課	
49	保育園併設施設地域子育て支援センター等の運営	着実です。		保育課	
50	多様なニーズに応じた保育の実施	令和4年度の総括ではコロナの制限緩和の結果、利用数が増加したとされていましたが、令和5年度は若干減っています。何か考えられる原因はありますか？	保護者の育児休暇の定着や時短勤務などの就労形態の変化、児童数全体の減少が一因と考えられます。 【延長保育、一時保育、休日保育の減少の要因を管理表に追記します。】	保育課	文書回答

51	高齢者や介護者の相談窓口の運営	包括支援センターに寄せられる相談内容を教えてください。 着実だと考えます。	介護保険関係（認定のこと、受けられるサービスのこと）が5割から6割を占めています。身体の不安に関する医療関係や認知症・もの忘れ（家族から半数程度）などについての相談が多くなっています。	長寿はつらつ課	文書回答
52	DV防止の意識啓発の推進と相談窓口の周知	DV相談件数が増大していますが、どのような状況なのか、説明できる限りで構いませんので、様子を聞かせてください。	個々のケースで事情が異なり、傾向を分析することが困難ですが、コロナ禍が落ち着き、相談に向く機会が増えたことはあると考えられます。また、2回目以上の再来の方の割合が徐々に増加していることから、相談・支援内容が多様化・複雑化しているケースが増えていることも考えられます。	人権・男女共同参画課	文書回答
53	外国人、障害者、高齢者に配慮した相談窓口の周知	昨年と記載内容が同じですが、成果の数字なり、本年度の特色なり、具体的なことを示していただけませんか？	（国際）令和5年度は2件のDV相談があり、通訳をしながら関係機関と連携して対応しました。 （福祉）相談件数は令和4年度43件、令和5年度64件と増加しています。そのうち、本人からの相談は令和4年度0件、令和5年度4件でした。 パンフレットを相談窓口を設置したり障害者虐待防止研修会に活用したりしています。 （長寿）各包括支援センターにおいて、訪問活動や地域の集まり等様々な場面を通じてリーフレットを活用し、誰でも気軽に相談できるよう周知に努めております。相談件数は年々増加傾向にあり、令和5年度は6,490件で、R4年度実績6,178件と比較して5.1%増となっています。	国際交流課・福祉課・長寿はつらつ課	文書回答
54	学校における性暴力やセクシュアル・ハラスメントの防止	昨年と記載内容が同じですが、成果の数字なり、本年度の特色なり、具体的なことを示していただけませんか？ セクシャルハラスメント防止の研修の内容には性暴力防止の内容は含まれていますか。	昨年度末に行った体罰アンケートでは、被害発生報告が0件でした。これは、教職員に対する非違行為根絶研修や、学校訪問時の勤務勤務に関する指導が効果を上げている証拠です。本年度は、「子どもサポートコール」や「子ども・青少年相談センター」との連携を強化し、相談や被害が発生した場合には迅速かつ丁寧に対応できるよう担当者による情報共有を行っています。また、児童生徒の心のケアを第一に考え、専門のカウンセラーによるサポートも充実させています。 セクシャルハラスメント防止の研修には、性暴力防止の内容も含まれています。具体的には、性暴力の定義やその防止策、被害者支援の方法についても詳しく研修します。	学校教育課	文書回答 文書回答
55	安全・安心な相談窓口の体制整備	DV相談の件数の増加について、現状を説明していただけると幸いです。令和5年度決算額が#になってしまっています。文字のフォントを小さくするなりしないと、見えません。	52と同様。 ※決算額のフォントを修正します。	人権・男女共同参画課	文書回答
56	児童生の被害相談への対応・支援	具体的に記述してください。	性暴力やセクハラ被害を受けた児童生徒から相談があった場合、以下の手順で対応します。 心のケアを最優先：被害者の心のケアを第一に考え、専門のカウンセラーや心理士によるサポートを提供します。 安全な環境の確保：被害者が安心して過ごせる環境を確保するため、加害者と被害者の物理的な距離を置きます。 関係機関との連携：管理職や教育委員会と連携し、適切な対応策を協議します。 事実確認：被害者の同意を得た上で、加害者に対して事実確認を行います。 継続的な支援：被害者が必要とする支援を継続的に提供し、学校生活における安心感を取り戻せるよう努めます。 外部機関との協力：必要に応じて、警察や児童相談所などの外部機関とも連携し、法的な支援も含めた総合的な対応を行います。 このように、具体的な対応手順を明示することで、被害者が安心して相談できる環境を整えています。	学校教育課	文書回答
57	職場におけるハラスメント相談への対応	相談が増えていますね。相談の傾向などお教えいただけますか？	継続の方よりも新規の方が増えています。職場の人間関係、転職、キャリアアップに関する相談に応じています。なお、今年度から土曜日の相談時間を設けたことで、平日夜間に利用できなかった方も利用できるようになりました。	人権・男女共同参画課	文書回答
58	相談従事者の研修の充実	相談員の研修は重要です。昨年よりも参加する部署が増えたのは良かったです！！		人権・男女共同参画課	
59	配偶者暴力相談支援センターの運営	相談件数の増大は深刻ですね。可能な限りで状況の説明をしていただけると幸いです。	身体的な暴力以外にも精神的ないわゆるモラハラや子どもの前での面前DV、生活費を渡さない経済的DVなど、多様化するとともに複雑化しているケースも見られます。警察や児童相談所、生活支援担当課ほか、庁内外の様々な機関と連携する必要があり、一人の相談者に対応する時間と回数が増えています。	人権・男女共同参画課	文書回答
60	関係機関と連携した相談の実施	研修や会議でどのようなことが課題になったのか、紹介してください。	児童相談所の体制や各関係機関が協力した児童虐待防止の啓発活動の促進が課題としてありました。	国際交流課、長寿はつらつ課、福祉課、子ども家庭センター	文書回答
61	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金	コメントなし		生活支援課	
62	母子・父子自立支援プログラム策定事業	コメントなし	※決算額のフォントを修正します。	生活支援課	
63	DV被害者の心身の健康回復支援	コメントなし		人権・男女共同参画課	
64	関係機関・民間支援団体との連携・協力体制の強化	具体的にどのようなことをしたのでしょうか？	長岡市DV防止ネットワーク連絡会議で各代表者が集まり、業務の内容やDV対応の現状と課題を話し合い、意見交換を行いました。お互いの業務内容を確認し合うことが、実際にケースが発生した際のスムーズな連携に役立っています。また、市域を跨いで支援を行うケースも増えていることから、周辺自治体を含む関係機関同士が顔の見える関係の中で、連携した対応を行うことにつながっています。	人権・男女共同参画課	文書回答
65	DV防止計画推進のための体制づくり	具体的にどのようなことをしたのでしょうか？	庁内DV被害者支援連絡会議を行い、庁内の各部局においてDVが疑われる情報を見聞きした場合の具体的な対応方法を確認しました。また、日頃の業務において対応が難しかったケースや、対応の仕方に不安がある場合などの質問に回答する形で、より良い方法を共有しました。	人権・男女共同参画課	文書回答
66	男女共同参画審議会の開催	コメントなし		人権・男女共同参画課	
67	男女共同参画施策に対する苦情への対応	コメントなし		人権・男女共同参画課	
68	基本計画の進捗管理と公表	コメントなし		人権・男女共同参画課	
69	男女共同参画に関する調査・研究	コメントなし		人権・男女共同参画課	
70	男女共同参画政策推進会議の開催	コメントなし		人権・男女共同参画課	
71	市職員への研修などの実施	コメントなし		人権・男女共同参画課、人事課	
72	支所との連携の充実	コメントなし		人権・男女共同参画課	

73	ウィルなおかの充実	ウィルなおかフォーラムの参加団体も開催講座数も減っていますが、状況を説明していただけると嬉しいです。	登録団体は現在27団体で、例年1件程度のペースで増加しています。フォーラムの登録団体イベントについては、各団体の事情により年度ごとに増減がありますが、今年度は12団体9講座の開催が予定されるとともに、中には国内を代表する有識者の方が講師として招へいされるなど、充実した内容が検討されています。	人権・男女共同参画課	文書回答
74	国・県及び周辺市町村などとの連携	コメントなし		人権・男女共同参画課	